

Title: 迷いながらも一ツ事



池田 篤彦  
1984年東京生まれ茨城育ち。  
神奈川在住。  
自分の写真と音楽に向き合い、「現場」での体験を大切にして、大いに楽しみながら作品撮影・制作をします。

撮影地は植民地時代に、ある産業で栄えた街。ゆえに現在の大都市・リゾート・地方の街など様々です。

基本記載日付が出来事の日付です。



(▲2ヶ月経過)



(▲4ヶ月経過)



(▲6ヶ月経過)

## ● 最近のエントリー

- ☞ [つねならざるもの](#)  
(2013.03.19)
- ☞ [4日目。明日で最後](#)  
(2013.03.18)
- ☞ [9期生のみなさんへ](#)  
(2013.03.17)
- ☞ [出張から丁度一年経ち...今日は二日目](#)  
(2013.03.16)

## ● アーカイブ

- ☞ [2013年04月](#)
- ☞ [2013年03月](#)
- ☞ [2013年02月](#)
- ☞ [2013年01月](#)
- ☞ [2012年12月](#)
- ☞ [2012年11月](#)
- ☞ [2012年10月](#)
- ☞ [2012年09月](#)
- ☞ [2012年08月](#)
- ☞ [2012年07月](#)
- ☞ [2012年06月](#)
- ☞ [2012年05月](#)
- ☞ [2012年04月](#)
- ☞ [2012年03月](#)

## ● 投稿カレンダー

## ● カテゴリー一覧

- ☞ [\[00\]日本《プロログ》](#)  
【-03/16】
- ☞ [\[01\]韓国](#)  
【03/17-03/23】
- ☞ [\[02\]台湾](#)  
【03/23-03/30】
- ☞ [\[03\]ベトナム](#)  
【03/30-04/15】
- ☞ [\[04\]カンボジア](#)  
【04/15-04/29】
- ☞ [\[05\]タイ](#)  
【04/29-05/15】
- ☞ [\[06\]マレーシア](#)  
【05/15-06/04】
- ☞ [\[06\]マレーシアSC1](#)  
【05/26-06/04】
- ☞ [\[07\]シンガポール](#)  
【06/04-06/10】
- ☞ [\[07\]マレーシア体森](#)  
【06/10-06/14】
- ☞ [\[08\]インド](#)  
【06/14-07/06】

迷いながらも一ツ事 &gt; 2013年03月 アーカイブ

13.03.19

## つねならざるもの

[Tweet](#)[Check](#)

卒業無事終了。本当にこの学校ともお別れです。[本日来場者数約150人]

今日という日を忘れない

学生生活の区切りの日、ある思いもつけたこの区切りを

そして思い出すことだろう

季節外れの夏の日のおそろしとしたところのゆらめきを

人は人によって育てられる

あなたがいたから、旅はより以上ののりをつけた

あなたがいたから、見えないものが見えるようになった

あなたがいたから、愛おしさの本当の意味を知れた

何千キロ離れたあのときも、手を伸ばせば届いたきょうの日も

人はみな人には見えない恋しみを背負って生きている

人を幸せにできるのは人であって

自分を幸せにできるのもまた自分であり

救われる者は結局ひとりりで救われていく

親愛なる親友としてまた「出会える」その時まで

これまでの数えきれない感謝をこめて...

...前へ

カテゴリ: [\[16\]日本《After Story》](#)  
[\[09/22\]](#)  
[・ 行旅 ・ 雑記](#)  
[トラックバック\(0\)](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2013.03.19 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

迷いながらも一ツ事 &gt; 2013年03月 アーカイブ

13.03.18

## 4日目。明日で最後

[Tweet](#)[Check](#)

4日目の今日もお忙しいところ多くの方においでいただきました。  
オリンバスギャラリーはとても立地が良い場所があるので、一般の方が多く訪れてくださいます。

- ☒ [09]モバイル  
[07/06-07/21]
- ☒ [10]中国  
[07/21-08/10]
- ☒ [11]マレーシアSC2  
[08/10-08/20]
- ☒ [12]西郷展ベストム  
[08/20-08/31]
- ☒ [13]西郷展台湾  
[08/31-09/08]
- ☒ [14]再集合韓国  
[09/08-09/13]
- ☒ [15]日本・武生《エピソード》  
[09/14-09/22]
- ☒ [16]日本《After Story》  
[09/22]
- ☒ - 鑑賞
- ☒ - 取材・執筆
- ☒ - 撮影
- ☒ - 行先
- ☒ - 訪問記
- ☒ - 雑記
- ☒ - 企画物写真

◎ ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校  
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



RSS 2.0

観覧者を奮む関係者の方々もお忙しい中、また遠路わざわざお越しいただきありがとうございます。  
ございました。





目がと回りが白く不快になり不快に深く目がどういつ戻れる事がしつがりと見  
めてください。

自分の嫌な部分を見ることや、自分の今までの何がしかを変えるということは蓄痛を伴い  
ますが、その蓄痛の先に見える新たな世界というものも確かに存在します。  
すべては自分次第、何でもできます。人生のうちでこれほど長い時間を自分のために割け  
る事は恐らく二度とないことだと思います。その事を知った上で、臆れず、自分の皮膚  
感覚を大事に旅をしてください。  
半年の間に体感から生み出された自分の言葉や感覚、座右の銘のようなものを見つけれ  
ればそれはとても幸せなことです。

人数が多いなりの大変さも伴うでしょうけれど、上手くやってください。

これらは私の希望であり好きです。お好きなように。

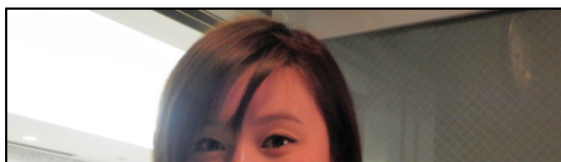
いつでも焦ることなく、前向きに、お元気です！行ってらっしゃい！！



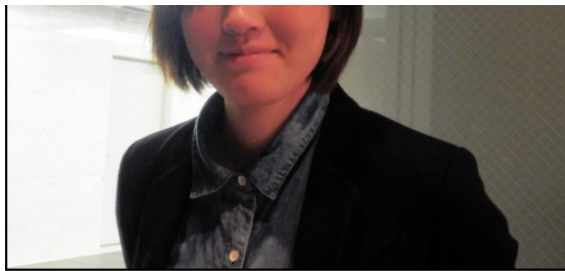
富田先生と「俗称「池田部屋」にて。引率として今年もほぼ付きまきりの先生。なかなか  
お会いできなくなります。



8期生、岡田さん谷津さん。出発直前で心身共に忙しいでしょうに会場に来てくれてあり  
がとう。





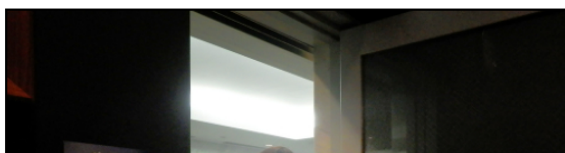


帰国後写真集を作るエディトリアルワークの授業をして下さった井本先生。



学校は勉強する場であると同時に縁を結ぶ場所でもあったと改めて思います。  
多くの人の縁（えにし）が重なって、卒業と同時にまた離れてく。でも一度「縁」が結ばれるとまたふとしたところでその縁が重なるということもまた良くあることだと思います。  
先生方との縁しかり、われわれ4人の縁しかり・・・。  
もともと寄せ集めで始まったFW7期生。旅の前も眼中も後も、それは色々ありました。  
振り返ると本当にかげがえのない4人であったと思います。  
それぞれの長所、短所、本当に尖っていると行っていいほどに凹凸があったと思いますがそれを全員が構いっばいそれぞれの出来る範囲で埋めて行って今に至ったと思います。ぶつかり合いながらお互いの性格を認めて、色々ひっくるめていって上手くやっていったと思います。

この先それぞれにどのような人生が待っているか未知ですが、確かに実感としてこの手で触れた、色のある時代の記憶としてずっと残っていく事でしょう。





就職先の宿泊研修が始まる井関さんとは今日でお別れです。ありがとう。そしてさようなら。元気です！

[来場者数約200人]

カテゴリ: [\[16\]日本《After Story》](#)  
[【09/22】](#)

[・行善・雑記](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2013.03.16 | [バナーリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[遅いながらもーン事 > 2013年03月アーカイブ](#)

13.03.15

開催中です

[Tweet](#)

[Check](#)

フィールドワーク期生卒業写真展開催中です。



本日二日目です。学校関係の方、先生方をはじめお忙しい中多くの方にご来場いただいております。  
ネパールで旅をご一緒させていただいた熊倉局長のご友人吉田さんもおいで下さり、差し入れとお昼をご馳走になりました。諸事情で今日は男性同士一対一のお食事でしたが、貴重なお話もうかがうことができました。ごちそうさまでした。

私個人の方では、幼稚園(土浦)時代の先生がご夫婦ではるばるおいで下さり、祖母が亡くなった時にお会いして以来6年振りにお目にかかることが出来ました。感動のあまり話に夢中で一緒に写真を撮ることも忘れてしまったのが心残りですが、お変わりなくお元気そうで安心しました。  
お話の中で、通っていた幼稚園(土浦で最初に来た歴史ある幼稚園)が統合される場所での継続を要望していたにもかかわらず全く別な場所の幼稚園に名前だけで残り、私が当時通っていた園舎や幼稚園の場所も更地になったと伺いました。また一つ記憶の場所がなくなってしまいました。何事も「常ならざるもの」であるというのには身にしみて感じていることではありますが、ある種の怒りと一抹の寂しさのようなものが胸い交ぜになった感情が込み上げてきました。かつて住んでいた街、歴史と文化の街を構構していたと記憶しているのですが、先日見てきたこととい現状は全く逆行しているように感じます。

話がそれました。  
明日は3日目。土曜日です。更に多くの方に足をお運びいただけるのではないかと期待して、お待ち致しております。  
明日は10:00~18:00です。最寄駅は都営新宿線小川町ですが、実は丸の内線淡路町、千代田線新御茶ノ水の駅も地下でつながっていて少しコンコースを歩いて頂くとA6エレベータに辿り着くことができるようです。

残りの会期中も私は一日中ずっと会場におりますので、お声がけ頂ければ幸いです。

[来場者数約120人]

カテゴリ: [\[16\]日本《After-Story》](#)  
[\[09/22\]](#)

post by: [池田 篤彦](#) | 日時: 2013.03.15 | [バナーリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[新しいながらもーニング](#) > 2013年03月アーカイブ

13.03.14

足掛け5年...卒業しました。

[Tweet](#)

[Check](#)

小雨が降る肌寒い日でしたが、無事に卒業を迎えました。  
会場は新宿の京王プラザホテルです。



入学してからのスライドショーを見ながら懐かしい気持ちになり。  
この学校にFW5期生として入学してから、休学=清算(手伝い)の年、2回目の2年生そしてFW、と足掛け5年にして今日という日をやっと迎えることが出来ました。



卒業式では7期生全員が国際貢献賞を受賞し、賞状とトロフィー、副賞を頂きました。  
トロフィーは初めて頂いたので本当にうれしいです。

また、個人では先日のアワードとは別に学内の先生方から卒業作品展優秀者ということで  
選んでいただき、記念品を頂きました。



(アワード含む贈り物)



式の後には、別室で謝恩会でした。お世話になった先生方としばし歓談して、お別れを惜しんでいました。



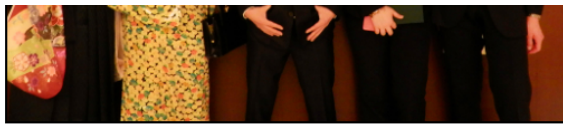




もとは5期生同士だった谷本さんと。彼女に遅れること幾年月の卒業。

最後は、引部部屋を思わせる組み合わせ。  
今日もまた、旅の途中でここから各々違う道へと「解散」していくのです。





会場を後に新宿駅の雑踏。半年間の中ではよくあったこんな光景「次は○○集合で！」を皆で思い出し再会を誓いました。

「次はオリンパスギャラリーで！」

卒業したけれどあとちょっとだけ、この学校での余韻の時間があります。  
7期生卒業写真展はオリンパスギャラリー東京で今日から19日(10:00～18:00、19日は15:00)までです。

カテゴリ: [\[16\]日本《After Story》](#)  
[\[09/22\]](#)  
[行事](#)

post by 池田 薫希 | 日時: 2013.03.14 | [バナーリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[遅いながらもーん亭](#) > 2013年03月 アーカイブ

13.03.13

■ 搬入完了。明日から、そして明日は。

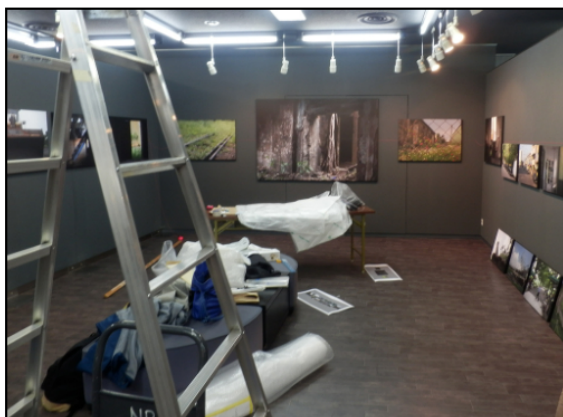
[Tweet](#)

[Check](#)

夕方よりオリンパスギャラリーにて、搬入展示作業をしました。

操彫してきたものが卒業作品展として一つの形になるというのはとても感慨深いものです。

ギャラリーの方、業者の方、先生方教務課の方も見えて、フィールドワーク自体もそうでしたが、本当に多くの方々に支えられて成立しているのだということを改めて感じました。



写真展はこれまでの告知の通りオリンバスギャラリー東京で明日から19日まで(10:00~18:00、最終日15:00まで)17日休館。です。

そして明日は卒業式。雨の子籠なのですが、やっぱり雨男なのでしょうか...

カテゴリ: [16日本《After Story》](#)  
[【08/22】](#)  
[・雑記](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2013.03.13 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[遅いながらもーツ準](#) > 2013年03月 アーカイブ

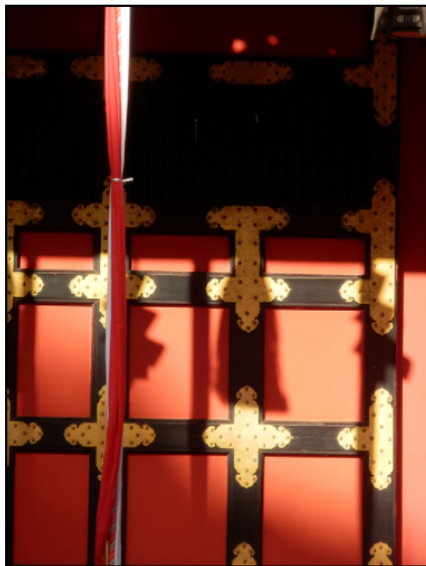
13.03.12

## 御礼参りと願掛け

[Tweet](#)

[Check](#)

春どころか夏すら感じる事もある今日この頃ですが、久しぶりに江の島に行ってきました。  
朝の清々しい空気と人がいない静けさの中、これまでの御礼とこれからの願を江島神社で祈ります。





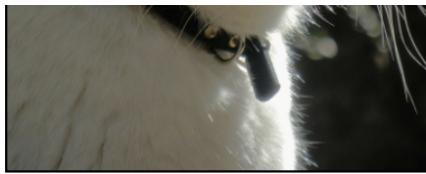
月日の巡るのは早く気付けば3月半ば。8期生も結団式を終えてブログも始まり、秋々の一年前を思い出します。



一年前もこの海を見ながらまだ見ゆアジアの国々に期待と不安しながら、折鶴にきていました。







やれることをやりつくして、後は折る。見守っていて下さいと折る。  
そうすると自分の中で一つの区切りがつかく気がするのですよね。

明日はいよいよ、本当にさ・い・ご・の大仕事。写真展の搬入・会場設置です。

カテゴリ: [\[16\]日本《After Story》](#)  
[\[09/22\]](#)  
[・ 訪問記](#) ・ [雑記](#)

post by 池田 薫彦 | 日時: 2013.03.12 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[深いながらもーん亭](#) > 2013年03月 アーカイブ

13.03.10

## NPI卒業作品展アワード

[Tweet](#)

[Check](#)

六本木AXISギャラリーでNPI卒業作品展アワードが聞かれました。  
有元伸也先生、広川泰士先生、増田玲先生、光田由里先生の4人の選考員の先生のもと、  
鳥原先生の司会進行で行われました。



フィールドワークゼミ、フォトアートゼミ、プリンティングワークゼミはAXISギャラリーでは展示をしないため、事前にポートフォリオを提出して今回のアワードに参加しました。

昨年从今年より今回で2回目のアワード。会場は学内生、卒業生、一般の方で満員でした。

ノミネートされた10人の学生がそれぞれプレゼンを行い、最終的に最優秀賞1名、各審査員賞4名、会場のアンケート投票による特別賞1名が決まります。私もノミネートされ、プレゼンをしました。卒業作品という、学内での作品制作の集大成を学外の先生方に審査していただけるという貴重な機会で、質疑応答やその後の講評など、普段のゼミの先生方とは違う視点でお話いただきとても勉強になりました。

写真があまり撮れなかったので、会場の様子がいまいち伝わりにくいですが・・・。

審査の結果、私は増田玲（国立近代美術館 主任研究員）先生の審査員賞を賜ることが出来ました。フィールドワーク半年間の成果が評価される形となり、とてもうれしいです。まだまだ至らない点のある作品ですが、今後も継続してテーマを繰り返して、作品を深めていきたいと思っています。

再度の告知ですが、フィールドワークゼミ卒業作品展は3月14日～19日（17日休館）10:00～18:00(19日は15:00まで)で東京神田、小川町のオリンパスギャラリー東京で開催します。（14日は卒業式のため我々卒業生はほぼ不在です。）

カテゴリ: [\[16\]日本《After Story》](#)  
[\[09/22\]](#)  
[. . . 行事](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2013.03.10 | [バナーリンク](#) | [コメント\(Q\)](#) | [トラックバック\(Q\)](#)

[深いながらもオープンな](#) > 2013年03月アーカイブ

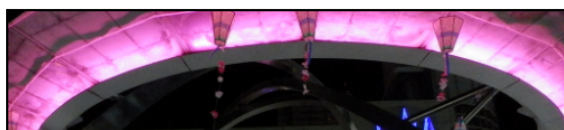
13.03.03

## 彼(か)の地へ

[Tweet](#)

[Check](#)

就職活動も終わり、報告かたがたつて住んでいた街土浦へ。駅を降りると、市の再開発で立てられた大型商業ビルが15年の歴史に幕を閉じていました。





丁度中学に上がる頃にオープンしたここは過去の記憶が繋がる場所の一つでもありました。

この地には福早江戸の頃から引き継いできた代々の楽しみがありません。



思えばこの学校での生活の前半はここを中心にありました。まる3年が過ぎがっつての生活の場所はここにもある空地となり、入手に渡ったのと同じくそこは自分の見知らぬ手触りのない場所となっていたのです。



ここを離れることなどないと思っていた当時と違い、新たな地で新たな生活が過ぎて行くにつれて一歩引いて考えられるようになり、それにつれこの地が自分にとって既に過去の一部に通ぎないものになりつつあることを感じます。

と同時にこの3年で他にも空地や衰退が一層顕在化するこの街の姿を見るにつけ、離れたこともまた自分の人生を転換するための運命であったのかもしれないと思えるようになりました。

失ったものはあまりにも大きく、しかし、それで得たものもあまりにも大きい。

想像は想像にすぎず、全ては身をもって体験しなければ体現されず、そこから先の世界も見ることは叶わない。

世界を知る事は自分を知ること、世界を通して自分を見ること。そしてこの先何があるとも来る最後の瞬間までそれでも私たちはこの世界で生き続けて行かねばならないということ。

「ただの空き地」を前にアジアでの日々やこれまでの事が、ただなんとなく、欠片が合わさるように繋がった気がしたのでした。

カテゴリ: [\[16\]日本《After Story》](#)  
[\[09/22\]](#)

[記事](#) [訪問記](#) [雑記](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2013.03.03 | [ホームリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)